

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

道 徳		東京書籍
総 評		<p>いじめについて深く考え、自分と重ね合わせて考えられるよう、「いじめのない世界へ」が設けられ、児童が安心して成長できる安全な社会の実現に向け、発達段階に応じて考えられるよう工夫されている。</p> <p>文字がやや小さく、教科書を開いたとき左ページから始まる教材があるため配慮を要する部分がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめのない世界へ」では、読み物教材が各学年2点、コラムと一緒に取り上げられ、継続的に考えられるよう工夫されている。①②③ ○ 我が国の郷土や伝統、世界のあいさつや文化など、日本と国際社会への興味をもてるよう工夫されている。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての読み物教材のタイトルとともに、分かりやすく表現された学習テーマが明示されており、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深められるよう取り扱われている。① ○ 各学年で問題解決的な学習が扱われており、「問題を見つけて考える」では、発達段階を考慮して、道徳的实践を主体的に行う意欲と態度を育めるよう配慮されている。⑥ ○ 「生命の尊さ」や「美しいものに感動する心」を扱った教材が複数配置され、命を尊ぶ態度を養うとともに、よりよい生き方について考えられるよう取り扱われている。②④
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインの観点から、行間や配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。③④ ○ 目次とは別に、1年間で学ぶことを内容項目ごとに示している。①④ ○ 短文の時には行数が本文中に表示され、探しやすい。②④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6年間を通して、情報モラルについて考える教材を配列している。① ○ 巻末付録の「つながる・広がる」は、道徳で学習したことを日常生活の中で実践することによって、学んだことをさらに深く心にとどめたり、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業ごとに色を塗って自己評価する「学習の振り返り」、学期ごとに心に残った教材を振り返り、自分の成長を見取る「学習のまとめ」の他、次年度の学習につなげるページが設けられている。振り返りの内容は、授業の評価にも活用できるよう工夫されている。① ○ QRコードを読み取り、動画が見られる教材が各学年4つある。②
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ SNS の使い方など、実際に起こり得る問題に対応できる力をつけるための教材が不足している。①
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生以上では、教材の後ろに「考えよう」として学習の視点が示されているが、自ら問題意識を持つためにはやや配慮を要する。③
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字がやや小さく、読みにくい。② ○ 教科書を開いたとき左ページから始まる教材があり、見にくい。④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関西弁の教材はあっても、大阪出身の人物や大阪を取り上げた教材がない。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習のまとめ」が計9教材分、長期休業前3回分と少ないため、日々の授業のまとめとして数が少なく、活用しにくい部分がある。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

道 徳		学校図書
総 評		<p>学習を振り返る活動ノートがあり、自らの道徳性の成長を実感したり、課題や目標を見つけたりできるよう工夫されている。また、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力が育成されるよう、情報モラル教育に関わる資料の工夫がされている。さらに、資料には児童に身近な動物を扱い、関心を持ち取り組めるよう配慮されている。読み物・活動ノートが分かれており、児童によっては指導の流れがつかみにくい部分もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ いじめについては直接的な教材はないが、「生命の尊さ」や他の内容項目と関連させて、多面的・多角的に考えらえるよう工夫している。⑤</p> <p>○ 直接的ないじめ表現ではなく、日常起こりうる問題を場面設定した資料を通して考え、生活につなげていけるよう工夫されている。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 分冊の『まなび』では、教材の学習からさらに道徳的価値に迫る問いかけが提示されており、一人ひとりが考えたことや発見した問題について意見交換することで、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深められるよう取り扱われている。①</p> <p>○ 分冊の『きづき』では、教材の主題となるねらいをつかみ、人物の行動や気持ちに共感したり、自分との関わりを考えたりするなど、他者と共によりよく生きるよう取り扱われている。②</p>
	3 外的要素	<p>○ 全学年で文字を一回り大きくし、行間を広げて読みやすくするなどの「フォントの工夫」、教材文を精選し、文字数を減らすなどの「重さの軽減」、色、デザイン等の「ユニバーサルデザインの監修」を受けることによって、誰にとっても使いやすくなっている。②③④</p>
	4 構成・配列	<p>○ 分冊『まなび』には、「自分の考え」「友達の考え」、学習を振り返り自分に繋げていく「つなげていこう」を設定することで、学習活動の記録となるだけでなく、同じ内容項目の学びを重ねる中で児童の変容を見ることができるよう配慮されている。②</p> <p>○ 『きづき』と『まなび』の2冊を活用することにより、道徳の学びが深まるよう構成されている。また、学校行事等との関連に配慮して4つの視点がバランスよく組織・配列されている。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 学習を広げるコラム「ともにいきる」では、各項目で扱った教材について更に視野を広め、道徳的価値を深めることができ、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。②</p>
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 情報モラルの取り扱いが児童の実態に合っていないところがある。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 分冊の取り扱い方が、指導者によっては難しいと感じるところがある。③</p>
	3 外的要素	<p>○ 表紙の絵があまり魅力的ではない。③</p>
	4 構成・配列	<p>○ 読み物・活動ノートが分かれており、児童によっては指導の流れがつかみにくい。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 活動ノートは文字数が多すぎる。①</p>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

道 徳		教育出版
総 評		<p>児童が自己の生き方について考えを深めるため「気づく、考える、深める、つなげる」の学習過程が示されている。教材の中に「やってみよう」という項目があり、道徳的行為に関する体験的な学習が行える内容もいくつか取り扱われており、学級でロールプレイができるよう考えられている。</p> <p>教材の末尾に観点が示されているが、自ら問題意識をもって考える学習展開をするためには、やや配慮を要する部分がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが安心して成長できる安全な社会の実現に向けて地震や災害についての内容が扱われており、自分の生活を振り返ることができるよう工夫されている。① ○ 人物を扱う教材を通して、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上、何事にもくじけず、努力をおしまない態度を育成できるよう工夫されている。②
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまな考え方をもった児童の立場に配慮した教材が取り入れられている。教材の冒頭には「気づく」、末尾には「考えよう」「深めよう」が設けられており、友だちと考えを伝え話し合う活動をし、自分の生き方を見つめて考えを深められるよう取り扱われている。① ○ 人物を取り扱う教材では、その人の功績や活動実績だけではなく、思い悩む場面や葛藤が紹介され、よりよく生きようとするためには何が問題になっているのかなどを把握できるようにして、児童が深く考えることができるよう取り扱われている。②
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字の大きさ、挿絵・写真も大きさや色使いに配慮されている。②③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ内容項目の資料や関連する内容項目を連続で配列しているところもあり、内容項目の関連が明確にされている。② ○ 一つの内容項目を複数の時間で扱えるよう補充教材が用意されている。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 功績をたたえられ映像化された人物や、児童にとって身近な動物や人物が取り扱われており、興味関心をひく内容となっている。②
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上への配慮については、やや課題がある。②
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の末尾に観点が示されているが、自ら問題意識をもって考える学習展開をするためには、やや配慮を要する。⑤
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な意味を含んだ「しるし」が記載されているため、児童の興味がいろいろなところに散りやすいように感じる。④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補充教材を合わせて35教材なので教材の数が少なく感じる。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人物を取り扱う教材が多いように感じる。①②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

道 徳		光村図書出版
総 評		<p>いじめ問題は全学年で複数取り扱い、異なる学習内容が取り扱われている。いじめを許さない心として、善悪の判断や相互理解・寛容等が系統的に配置されている。併せて学年の発達段階に応じたコラムが配置されている。</p> <p>文字がやや小さく、判版が B5 版のため、1つの教材文が長いものについては、ページ数が多くなり、特に高学年は全体のページ数が多い。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「いじめ問題」に結びつく教材を多く取り上げ、互いを認め合う心や決していじめを許さない心が育成されるよう工夫されている。①
	2 内容の取扱い	○ 教材末尾の「考えよう・話し合おう」では、問い、交流や役割演技等考え方の促しがあり、多面的・多角的に考えを深められるよう取り扱われている。① ○ 場面を表す挿絵や写真などが多く使われ、教材の内容理解を助ける工夫がされている。漫画や人物の吹き出し等で、場面理解を助けるような工夫がされている。⑦ ○ 関連する教材の後に、学年の発達段階に合わせ、いじめや情報モラル・共生等の社会問題についてのコラムが複数配置されている。③
	3 外的要素	○ 文字の大きさやフォント、行間も適切で、児童にとって読みやすいものになるよう工夫されている。② ○ 挿絵や写真の大きさ、色使い等にも配慮されている。かつ、必要最低限でまとめられており、シンプルで見やすい。③
	4 構成・配列	○ 児童の1年間の成長を考慮し、学習のまとまりを3つに分けているので、1年間を見通せるよう配慮されている。① ○ いじめ防止や情報教育など現代の課題に対し、コラムと資料をひとまとまりにしてユニットを組んで学習できるよう工夫している。②
	5 資料・その他	○ 児童にとって身近な生活場面やスポーツ選手・歴史上の人物のメッセージなどが取り扱われ、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すよう工夫されている。② ○ 大きさが、B5版で低学年でも持ちやすい。② ○ QRコードを読み取る教材には、音声流れる工夫がされている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上への配慮については、やや課題がある。②
	2 内容の取扱い	○ 全学年で設定されている「演じて考えよう」では、問題場面での人物を演じることで体験的に学習できるよう工夫されているが、やや低学年には難しい部分がある。②
	3 外的要素	○ 右ページ始まりと左ページ始まりが混在し、少し分かりづらい。①
	4 構成・配列	○ 学びの記録の部分がまとまってはいるが、それぞれの教材の後に掲載されている方が、より効果的に使いやすく感じる。②
	5 資料・その他	○ スポーツ選手や歴史上の人物を扱うことで、学年により難しさを感じるものもある。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

道 徳		日本文教出版
総 評		<p>児童が自己の生き方について考えを深めるため、「気づく、考える、見つめる、生かす」の学習過程が設けられている。学校調査では、「児童の発達の段階や特性等を踏まえつつ、論理的思考力・判断力・豊かな表現力等を育成するよう配慮されている」という点において、最も優れていると評価しており、学校現場の実態に合っている。</p> <p>学びの記録が一部、自由記述になっているところがあるため、書く内容をまとめるのが苦手な児童にとっては、難しく感じられる部分がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 資料の登場人物が、人間であれば誰もがもっている弱さと同時にそれを乗り越えようとする強さや気高さについて理解できる教材が扱われており、豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実に資するよう配慮されている。②⑤</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 葛藤、心の揺れを扱った教材を配置することにより、自分と重ねながら深く考えられるよう工夫されている。②</p> <p>○ 内容項目「命の尊さ」について。全学年にわたって、教材が複数配置され指導時期も考慮されている。「命の尊さ」にふれることによって効果的に命を尊ぶ態度が養われ、よりよい生き方について考えが深まるよう配慮されている。⑦</p> <p>○ 情報モラルに関する内容が含まれており、具体的な事例を挙げながら、自分の生活を振り返ることができるようになっている。また、他の内容項目とも関連付けて考えられるよう配慮されている。④</p>
	3 外的要素	<p>○ 文字の大きさ、写真も大きさに配慮されている。挿絵は温かい色使いのものが多く児童に親しみやすいようになっている。②③</p> <p>○ 難しい漢字や人物の名前にはふりがながついており、児童にとって読みやすいものとなっている。④</p>
	4 構成・配列	<p>○ 巻末には他教科との関連が示されている。また、学校行事等との関連が考慮された教材が配列されている。①</p> <p>○ 全学年、「教科書」と「道徳ノート」との2冊分で構成されている。子どもたちの授業での気づきや考えたことを授業後に確認しやすいよう考えられている。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 挿絵のキャラクターが親しみやすく、写真や図表なども児童が興味をもつように工夫されている。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上への配慮については、やや課題がある。②</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ ねらいとする内容項目は違うが、類似するような内容のものが続くところがある。③</p>
	3 外的要素	<p>○ 教科書が大きく見やすい点は利点ではあるが、他の教科書と大きさが違うため、持ち運びや収納する際には教科書がやや大きく感じられる。①</p>
	4 構成・配列	<p>○ 学びの記録が一部、自由記述になっているところがあるため、書く内容がまとまりにくい児童にとっては、難しく感じられる。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 高学年にスポーツ選手や歴史上の人物の取り扱いが、やや多いように感じられる。①②</p>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

道 徳		光文書院
総 評		<p>いじめや情報モラル、生命の尊さという現代的な課題について、自分事として深く学ぶことができるよう、すべての学年で複数の教材が設定されている。また、付録教材を4、5教材掲載し、実態に合わせて取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>教科書がやや分厚く重いため、配慮を要する部分がある。また、「学びの足あと」の一言の欄が小さく、罫線も無いため児童が書きにくい部分がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめを生まない心」、「情報モラル」について、目次で印をつけて表示し実際に起こり得る問題について重点的に取り扱っている。①②③ ○ 生命の尊さについて全学年で重点が置かれ、関連した複数の教材が連続して配置されることにより、人間としての在り方や命を輝かせて生きる生き方について考えを深められるよう工夫されている。②
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての教材のタイトルと並んで発問を記載し、下段に教材を通して考える視点などがキャラクターの吹き出しによる問いかけで示され、また、考えを記入する欄などが設けられている教材もあり、自己の生き方について考えを深められるよう工夫されている。①⑦ ○ 低学年では基本的な生活習慣や善悪の判断、中学年では正しいと判断したことを行ったり協力し助け合ったりすること、高学年では集団生活の充実をめぐること、他国を尊重することなど、指導内容の重点化がなされ、ねらいに即した指導内容となるよう配慮されている。③
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教材が教科書を開いた時、右ページから始まり見やすい。④ ○ ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。③ ○ キャラクターや吹き出し、登場人物の顔の絵を活用し、児童の興味・関心を引き出す工夫がされている。③④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年で、教材が35、付録教材が5の、合計40教材が収録され、実態に合わせて教材を選択できるよう工夫されている。① ○ 全学年で「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」という4段階の流れが示され、学習のねらいに即して学ぶことができるよう配慮されている。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に「学びの足あと」として折込みページが設けられ、自らを振り返って成長を実感したり、道徳的価値を深めたり、整理したりできるよう工夫されている。① ○ 「みんな仲よし 楽しい学校」では、登場するキャラクターと共に、いじめの防止に主体的にかかわれるよう配慮されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が授業で主体的に考えるには、教材を通して考える視点が示され過ぎているように感じる。③
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低中学年の「みんな仲よし楽しい学校」では、キャラクターが諭すように吹き出しで語っており、配慮がある。⑤
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書が大きく、やや分厚く、重い。① ○ ページの数字のフォントが、やや細く、見にくい。②
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 付録教材として、伝統的な読み物教材を当てている学年がある。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの足あと」の一言の欄が小さく、罫線がなく、児童が書きにくい部分がある。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

道 徳		学研教育みらい
総 評		<p>グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力が育成されるよう情報モラル教育に関わる資料が工夫されている。また、いじめ防止に関わる態度についての構成が配慮されている。さらに、児童が考えを深め、判断し、表現する力を育めるよう、資料全体の構成が配慮されている。</p> <p>教科書の判型が大きく、他の教科書に比べ縦長の形をしているので、分かり易いが、児童には馴染みがないかもしれない。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童の発達段階に応じた、児童が興味・関心を持ちやすい現代的な課題の教材を取り上げ、児童自らが主体的に考え、道徳的实践意欲や態度が育まれるよう配慮されている。③
	2 内容の取扱い	<p>○ 教材の主題を本文冒頭に記載しないことで、児童自ら道徳的問題を発見できるよう構成されている。また、「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」のページを通して、物事を多面的・多角的に考えられるよう構成されている。①</p> <p>○ 各学年で自己肯定感や心の弱さと向き合うことについて触れ、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等、児童が自己の生き方について考えを深められるよう取り扱われている。②</p> <p>○ 「つなげよう」のページで、教材での学習をもとに、自己を見つめ、自分のよりよい生き方について考えることで、学んだことを更に深く心にとどめ、これからの思いや課題について考えることができるよう配慮されている。⑤</p> <p>○ 「深めよう」のページで、問題解決的な学習活動をしたり、「やってみよう」のページで、教材の内容をもとに体験的な学習活動をしたりすることができるよう工夫されている。⑥</p>
	3 外的要素	○ レイアウトは、余白を適度に確保しゆとりがあるよう紙面が構成されている。また、フォントは、大きく、見やすい書体を使用し、カラーについても特別支援教育への配慮がなされている。②③④
	4 構成・配列	<p>○ 各学年巻頭に「自分のことを書いてみよう」、巻末に「心の宝物」のページを設けることで、児童が自身の成長を振り返ったり、課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。①</p> <p>○ 2学年ごとに「重点テーマ」が付されており、関連する教材が連続して組織・配列されている。①</p>
	5 資料・その他	○ 他教科の学習などさまざまな教育活動との関連、家庭や地域との関連が図られるようになっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 情報モラルの取扱いが児童の実態に合っていないところがある。④
	2 内容の取扱い	○ 教材の主題を本文冒頭に記載していないので、導入の工夫が必要。③
	3 外的要素	○ 判型が大きい。①
	4 構成・配列	○ 教材の主題が本文冒頭に記載されていない。①
	5 資料・その他	○ 別冊のノートがないため、ワークシートやファイルを用意する必要がある。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

道 徳		廣 濟 堂 あ か つ き
総 評		<p>児童が主体的かつ対話的に学習できるよう、「考えよう 話し合おう」が設けられ、自分の生き方について深く考えられるよう工夫されている。また、色の識別のみによらず、文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなど必要な情報が読み取れるように配慮されている。</p> <p>「本冊」と「道徳ノート」との2冊構成のため、取り扱いについては、特に低学年の実態からやや難しい部分もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ いじめについては直接的な教材はないが、「生命の尊さ」や他の内容項目と関連させて、多面的・多角的に考えらえるよう工夫している。①</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 教材末尾に「考えよう 話し合おう」が設けられており、学習の道筋や教材をもとに考える問い、自己に照らして考える問いが示され、学んだ内容を一層広げられるよう配慮されている。そのことを通し、自己の生き方についての考えをより深められるよう工夫されている。①</p> <p>○ 多面的、多角的に考えながら、課題解決に向けて話し合う問題解決的な学習や、道徳的行為にかかわる体験的な学習が全学年に適切に配置されている。そのことを通し、道徳的実践を主体的に行う意欲と態度を育めるよう工夫されている。⑥</p> <p>○ 身近な社会的課題に関する教材が、発達の段階に応じて取り上げられている④</p>
	3 外的要素	<p>○ 必要最低限の文・挿絵・写真でまとめられおり、シンプルで見やすい。また、別冊「道徳ノート」はマスがあって書きやすい。②③</p> <p>○ 文字の大きさ、挿絵・写真も大きさや色使いにも配慮されている。②③</p>
	4 構成・配列	<p>○ 別冊の「道徳ノート」を活用することで、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、表現する力を育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動が充実している。②</p> <p>○ 各学年の重点項目には、効果的な指導が行われるよう複数の教材を位置づけ、一部は連続して学習できるよう構成・配列されている。また、児童の考えを深めさせる工夫もされている。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 学習を振り返る「道徳ノート」があり、自らの道徳性の成長を実感したり、課題や目標を見つけたりできるよう工夫されている。①</p> <p>○ 児童にとってスポーツ選手等親しみやすい人物が取り扱われている。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 「いじめ」という直接的な表現がないため、「いじめ」の取りあげ方について少し弱い面がある。①</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 道徳ノートは低学年には、やや扱いにくく感じられる。③</p>
	3 外的要素	<p>○ 右ページ始まりと左ページ始まりが混在し、少し分かりづらい。①</p> <p>○ 判版が大きく、やや分厚くて重い。①</p>
	4 構成・配列	<p>○ 「本冊」と「道徳ノート」との2冊構成のため、やや扱いにくい面がある。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 別冊「道徳ノート」への記入欄がやや多く感じられる。②</p>

